

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

中央図書館開館 20 周年記念

◆◆◆-----
◆◆ 市川市立図書館メールマガジン 第 70 号 2015.2.10
◆-----

行徳図書館リサイクルブック市が、1月31日(土)、「市川図書館友の会との共催で開催されました。当日の来場者は412人、用意した8,262冊のうち4,350冊を提供いたしました。ご来場ありがとうございました。

■ ■ 図書館からのお知らせ □-----

◆蔵書整理による休館のお知らせ

○市川駅南口図書館は、2月16日(月)から2月18日(水)まで蔵書点検のため休館させていただきます。休館期間中は大変ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

◆「図書館だより No.88」を発行しました。

○今号の特集は、「かりる時、かえす時にも思いやり」。図書館では、利用者の皆さんが気持ちよく利用できるように、現在“図書館マナーキャンペーン”を実施しています。図書館は、多くの方が利用する公共の場であり、図書館の資料は市川市民の大切な財産です。マナーを守ってご利用ください。

○「図書館だより」は各図書館で配布しているほか、図書館ホームページからもご覧いただくことができます。

「図書館だより No.88」はこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1008.html>

■ ■ テーマ展示 □-----

◆中央図書館

○「終活」(2~3月)

人生を終えるための活動をあらわした「終活」は、流行語から一歩進んで今をより良く生きる行動として広がりを見せています。

今年1月に相続税及び贈与税の法改正がされたことで、相続に関する話題

もよく耳にします。

そこで今回の展示では、中央図書館で所蔵している資料から、お墓、相続、遺言、荷物の整理の方法など「終活」を考えるためのヒントとなるような資料を集めました。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1170.html>

○展示の本からいくつかご紹介します。

◇『「終活」バイブル：親子で考える葬儀と墓』

奥山晶子／著（中央公論新社 2013）

葬儀社での勤務経験のある著者が、もしもの時に備える「終活」についてシミュレーションを交え具体的に解説しています。昨今のお葬式事情や子世代が準備しておくべきことも知ることができます。「終活」は自分らしい最後を迎えるためのものですが、残された家族の理解があってこそ実現できます。タブーになりがちな話題ですが、この本をきっかけに親子で一緒に考えてみませんか。

◇『波平は「相続」であわてない！：磯野家に学ぶ 33ヶ条』

長谷川裕雅／著（文藝春秋 2014）

平成 27 年 1 月 1 日から改正相続税法が施行され、相続税がお金持ちだけの問題ではなくなりました。この本では改正後の相続税の計算方法、遺産分割や遺言についてなどを「サザエさん」の磯野家をモデルにして紹介しています。マスオは相続人ではない、波平がタラオに財産を残すにはどうしたらよいか、磯野家の土地の評価額はいくらかなど、楽しく読めてわかりやすい相続の新常識の解説書です。

◇『60 歳からしておきたいこと』

坂東眞理子／著（世界文化社 2014）

“60 歳を過ぎたら元気うちにモノや人間関係を整理する「老活」を、80 歳を過ぎたらいざという時のために遺言や延命治療の意思を準備する「終活」を始めたいものです。まだまだ先のことだからと言わず、最後まで自分らしく生きるために品格ある老い方を考えてみましょう。”
ベストセラー『女性の品格』の著者が、老前整理と旅立ちの準備について自身の経験を交えて紹介しています。

.....
◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
